

**MARUZEN
GOVERNMENT**
— BLOW BACK —
INSTRUCTION MANUAL**マルゼン ガバメント ブローバック
使用説明書** **保存版**

★ご使用前に必ず最後までお読みください。

記 載 内 容

- ① エアースポーツガン使用上のルール
- ② 製品説明 (各部名称・諸元表)
- ③ 操作方法 (1.~6.)
- ④ メンテナンス
- ⑤ 保管方法
- ⑥ 危険な改造の禁止
- ⑦ トラブルシュート (故障と思われる時)
- ⑧ マルゼン製品の修理について

この製品にはBB弾と注入ガスが必要です。マルゼン製品にベストマッチする別売マルゼン製BB弾各種、別売マルゼンシューターズボンベ各種を必ずご使用ください。

⚠ 警 告

- この製品は18才以上の使用者を対象にした競技用エアースポーツガンです。誤使用や不注意な発射は失明やケガ等の危険があります。50mまでが危険範囲となります。
- ご使用前に使用説明書はすべてお読みください。そして必ず保管してください。説明書を紛失された場合、ただちに当社までご請求ください。購入者及び使用者は説明書に記載されている使用上のルールを守り、操作方法を確実にマスターしてください。

1 エアースポーツガン使用上のルール

★エアースポーツガンは、18才以上を対象に製造された競技銃です。競技場所、練習場所をよく考慮したうえで、競技ルール(APSカップルール等)を守り、健全にお楽しみください。

⚠ 警告：次の14ルールは必ずお守りください。

- ① 使用する時は、その場の全員が眼の保護具(シューティンググラス等)を必ず装着してください。
- ② 給弾の有無に関係なく、銃口は絶対に人や動物等に向けないでください。
- ③ 銃は発射する時以外は、常にセフティをかけてください。
- ④ 銃は常に装弾されていると思って扱ってください。また、使用時以外は必ず弾を抜いてください。
- ⑤ ターゲットを狙っている時以外は、トリガーに指を触れないでください。
- ⑥ 跳弾及びBB弾の割れる可能性のある固いもの、貫通の可能性のある弱いもの等はターゲットに使用しないでください。ターゲットの周囲にも注意してください。
- ⑦ 銃口は絶対にのぞかないでください。弾があたった場合、失明やケガ等の危険があります。
- ⑧ 銃の分解/改造/加工は修理の為でもやめてください。組み違いによる故障の恐れがあります。
- ⑨ JASG承認のBB弾以外は使用しないでください。
- ⑩ マルゼン純正の注入ガス(シューターズボンベ)以外は使用しないでください。また、ガスボンベ本体の注意書きも必ずお守りください。ガスボンベ・銃(本体・マガジン)共に40℃以上となる場所での使用・保管はお止めください。
- ⑪ マナーとして、競技等の使用時以外は銃を露出させないでください。
- ⑫ 銃により操作方法は異なります。必ずその銃の説明書を熟読して操作に慣れてから給弾してください。
- ⑬ 事故を防ぐのも、起こすのも、銃を手に行っているあなたです。銃の扱いには充分注意して、銃口はいつも安全な方向に向けてください。
- ⑭ 必ず対象年齢以上の方が管理して、対象年齢未満の子供等の手が届かないようにしてください。

2 製品説明 (各部名称・諸元表)

各部名称 英語(日本語)表記。説明書文中は基本的に英語表記で各部を示します。



マルゼン ガバメント ブローバック諸元表 ('00/6現在)

※必ずしもすべての製品がこの数値とは限りません。ご了承ください。

発射方式	ガス式マルゼンブローバック(セミオート)※アドバンスシュートシステム		
使用弾	マルゼン製6mmBB弾各種	装弾数	12+1発(+1はチャンバー内)
使用ガス	マルゼン製シューターズボンベ各種	発射数	約36発(マガジンにガス注入1回毎)
最大射程	50m(最適角度で上方に発射した時)		
初速	240fps.(73mps.)	エネルギー	0.54J(0.192kgm/cm ²)
バレル	112.7mm(外径8mm・内径6.05mm・固定ホップ付)		
セフティ	マニュアルセフティ、グリップセフティ		
サイト	フロント・リア共：固定式		
全長	218mm	重量	657g
材質	グラスファイバー入ABS、ジंकダイキャスト等		

※発射数、最大射程、初速、エネルギーの数値は気温20℃の時、マルゼン製アキュラシーBB弾0.2gを使用した最大値です。

3 操作方法 (1.~6.)

警告 マルゼン製エアースポーツガンは18才以上の方であればどなたでも購入・使用できますが、場合によっては失明やケガ等の危険があります。銃は発射する時以外は、常にセフティをかけてください。また、使用時以外は必ず弾・ガスを抜いてください。(6. 発射を終える時の処理を参照)

操作手順

1. ハンマーポジション・セフティ操作
2. マガジンの使い方
3. 発射
4. ハンマーの戻し方
5. 固定レンジアップ(ホップアップ)について
6. 発射を終える時の処理

※保管する時は **回** 保管方法を参照



図2

1. ハンマーポジション・セフティ操作

ハンマーポジションについて ⇒図2参照

このモデルにはハンマーのポジションが3ヶ所あります。

① ダウン：ガスを放出させる内部のファイアリングピンにハンマーが触れている状態。常に(特にマガジンをはずす・つける時)このポジションではないことを充分確認してください。

② ハーフコッキング：実銃ではこのポジションになると、トリガーもロックされ準セフティのように働きますが、エアースポーツガンにおいては

は材質の性質上、そのトリガーロックを省きました。またマニュアルセフティもかけられませんが、<ファイアリングピンに触れない実物ポジションの再現>とのみご理解ください。このポジション時にマニュアルセフティは操作しないでください、内部パーツが傷みます。

③ フルコッキング：トリガーを引けばダウンする、発射前のポジション。この時のみマニュアルセフティがかけられます。※ハンマーの戻し方については 図11 をご参照ください。

マニュアルセフティ(親指で操作するため、サムセフティとも呼びます) ⇒図2参照

かけ方：実物同様に、この銃のマニュアルセフティはハンマーをフルコッキングした時のみかけられます。マニュアルセフティ・トリガーに触れずに、まずハンマーをフルコッキングしてから 図2 のように「カチッ」と上げてください。トリガーもスライドも引けなくなります。発射するとき以外、常にマニュアルセフティはかけたままにしてください。

はずし方：トリガーに触れずにマニュアルセフティを「カチッ」と下げてください。

グリップセフティ

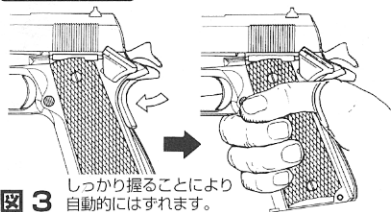


図3 しっかり握ることにより自動的にはずれます。

グリップセフティ ⇒図3参照

落下等の衝撃で不意にトリガーが動かないよう、常にトリガーをロックしているセフティです。銃をしっかりと握ることにより自動的にはずれます。※構造上まずトリガーから指を離して、グリップセフティをもどしてください。もどったことを必ず確認。

△警告：銃を手にししたら、銃口は必ず安全な方向に向けてください。そして発射する時以外常にマニュアルセフティをかけて、トリガーには触れないでください。またマニュアルセフティをかけた後やグリップセフティをはずさずに、トリガーを無理に引こうとすると、作動不良(セフティ解除等)・故障の原因になりますので、おやめください。銃はいつも給弾され、発射可能であるとして慎重に取り扱ってください。

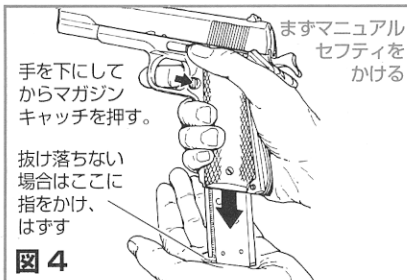


図4

※構造上、ハンマーポジションとは無関係にファイアリングピンの状態により、マガジンが抜け落ちない場合があります。マガジンベース先に指を掛けて引き抜いてください。

2. マガジンの使い方(A.~D.)

△注意：このマガジンは重量がありますので、誤って落下させた場合、思わぬケガ・事故の原因となる場合があります。ご注意ください。

<A. はずし方> ⇒図4参照

図4のようにまずハンマーがフルコッキングであり、マニュアルセフティがかかっていることを確認してから、マガジン脱着口の下に手を置き、マガジンキャッチを押してください。抜け落ちるマガジンを落下させないように手で受け止めてください。

△残弾警告①(マガジンをははずす時)：実物同様に、この銃は構造上、銃のチャンバー(発射直前のBB弾を保持するバレル基部 ⇒図1 参照)内にBB弾を送る動作(スライド操作、発射、続くハンマー戻し)をした後にマガジンをははずした場合、銃チャンバー内に必ず残弾したままになり、大変危険です。続けて撃たない時はただちに6.発射を終える時の処理に従い、銃内にBB弾の無い安全な状態にしてください。マガジンがついていないというだけで、その銃内にBB弾がないだろうとは絶対に判断しないでください。

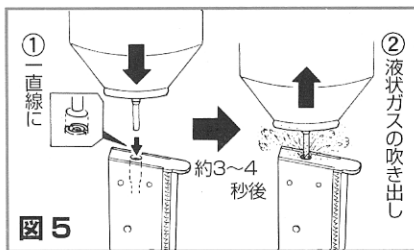


図5

<B. ガスの注入> ⇒図5参照

△警告：必ずマガジンのみでガス注入してください。銃に付けたままでは絶対におやめください。構造上、銃内に残弾したままガス切れ等を起こした状態で、銃に付けたままガス注入を行った場合、注入と同時に弾を発射する危険性があります。充分ご注意ください。

①注入バルブは 図5 のようにマガジンボディと平行に内蔵されています。マガジンを逆さまにして、マルゼンシューターズポンペのノズル

ルが一直線になるように、注入バルブへ差し込み、軽く押し付けてください。
②約3~4秒後注入音が変わり、注入バルブ周りから液状ガス(いわゆる生ガス)が吹き出たら注入完了です。ポンペをすぐに離してください。ガス注入後は上部の放出バルブに絶対に触れないでください。⇒図14参照

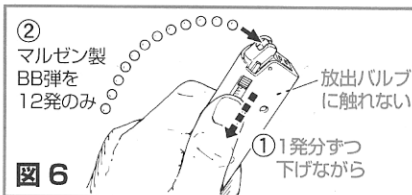
△注意：注入するガスにはマルゼンシューターズポンペを必ずご使用ください。マルゼンシューターズポンペを使用した場合のみ最適な性能が得られるでしょう。他社製ポンペではバルブ径が合わず注入できない場合もあります。また、ポンペノズルとマガジン注入バルブが一直線でない、ガスは外にもれるだけで注入されません。

▲注意：マガジンの注入バルブを必ず真上(水平)にしてガス注入を行ってください。構造上、傾けた状態(斜め・横)で注入されるとガスが入り過ぎ、生ガス発射等不調の原因になります。

▲ガスボンベ・ガスガン使用上の注意 不燃性・火気厳禁・高温に注意

高圧ガスを使用しており危険なため、下記の注意を守ること。

- ①高温にすると破裂の危険性があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に製品(ガスボンベ・銃・マガジン等)を置かないこと。
 - ②火の中に入れてはいけないこと。
 - ③使い切って捨てること。
- ・温風、熱湯等による加温は絶対にやめてください。
・暖房器具等の熱源の近く、直射日光及びガラス越しの日光が当たる場所、車中等の高温になる場所に放置または保管しないよう注意してください。
- ・人体には使用しないでください。凍傷になる恐れがあります。
・風通しの良い所で使用してください。
・中身を使い切って捨ててください。
※必ずガスボンベ本体の警告文もお読みください。



<C. BB弾の給弾> ⇒図6参照

- ① 図6 を参考にマガジンフォロワーの指かけを1発分ずつ下げながら。
- ② マルゼン製BB弾を給弾口前方から1発ずつパチッと、12発のみ入れてください。
※フォロワーを下げきってから給弾を行うと、フォロワーが指から離れた場合、BB弾が飛び出します。ご注意ください。

▲注意：BB弾はマルゼン製6mmBB弾各種(APS-BB弾、アキュラシーBB弾等)を必ずご使用ください。これらのBB弾を使用した場合、最適な性能が得られるでしょう。他社製造の直径及び表面処理の異なるBB弾の使用は作動不良の原因にもなります。また、割れた、キズの付いた、変形した、ヨゴレの付いた、一度使用したBB弾及びBB弾以外の異物は給弾しないでください。銃口から直接BB弾、異物も入れないでください。故障の原因になります。

<D. つけ方>

はずす時同様、図4 のようにまずハンマーがフルコッキングであり、マニュアルセフティがかかっていることを確認してから、マガジンキャッチが「カチッ」とかかるまでしっかり押し込んでください。指等挟まないようご注意ください。つけた後、マガジンベース先に指を掛け、軽く引っ張って抜けない事を必ず確認。構造上、前後の遊びはあります。



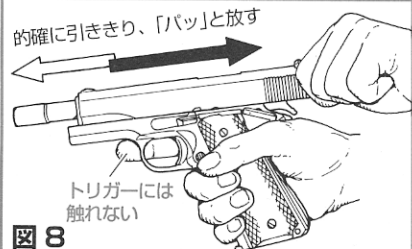
3. 発 射

<照 準> ⇒図7参照

フロント/リアサイトを 図7 の正しい照準に合わせてください。この合わせ方は一般的な方法です。必ずしも照準通りに発射されるとは限りません。

<スライド操作：初弾送り> ⇒図8参照

この操作を行わないと、初動は空撃ちブローバックになります。マニュアルセフティをはずし、トリガーに触れずに、可動部に注意しながら、スライドを的確に引ききり、そこで「パツ」と放してください。スライドが戻り、1発目がチャンバー(発射直前のBB弾を保持するバレル基部 ⇒図1参照)に送られます。すぐに発射しない場合はマニュアルセフティをかけてください。



★トリガーアクションについて：この製品はいわゆるシングルアクションのみです。何らかの理由でハンマーがフルコッキング以外の場合、初動時は手動(スライドを引くか指で)でフルコッキングにしてください。その際、マニュアルセフティ・トリガーに絶対に触れないでください。

▲注意：スライド操作はゆっくり行うと送弾不良になります。2回以上行くとダブルチャージ(2発以上同時発射)になります。ダブルチャージでの発射は狙った方向ではなく、思わぬ方向に飛ぶ場合がありますので、ご注意ください。

<発射>⇒図9参照

- ① ターゲットとその周囲(特に後方)の安全を充分確認してください。銃を正立(⇒図9参照)させて、しっかり銃を握り(グリップセーフティ解除)、マニュアルセーフティをはずしてください。作動中はマニュアルセーフティに触れないでください。
- ② ここで初めてトリガーガード内に指を入れてトリガーにしっかり指を当てて、引ききります。
- ③ トリガーを引ききると、ハンマーがダウンして、BB弾を発射。
- ④ 続いてスライドが勢い良く後退そして前進、ブローバックします。可動するスライドに身

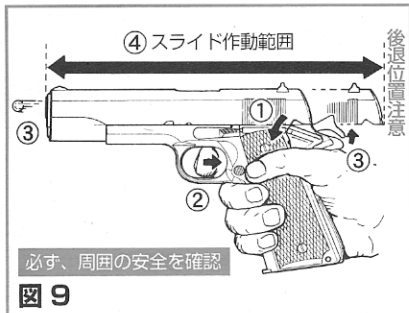


図9

体の一部や衣類等が当たったり、かんだりしないようご注意ください。特に後退するスライドに顔等近づけないようにしてください。ケガをしたり、銃作動不良を起こします。また作動時、排気するガスを手等に多少感じます。*弾道が不適正な場合はただちに 5.固定レンジアップ(ホップアップ)について をご参照ください。

- ⑤ マガジンに給弾のある限り、発射、ブローバックを繰り返します。この銃にはスライドストップ(⇒図10参照)が設定されていますので、撃ちきるとホールドオープンして止まります。
- ⑥ 発射ガスの性質上、特に20℃以下の低気温時、しばらく撃つことによりガス圧が低下してきたら、スライド作動スピードが遅くなり、弾の飛びも悪くなります。さらにガス圧低下(もしくはガス切れ)したら作動ストップ、いわゆる<冷え>の状態になってしまいます。この時、銃・マガジンは冷えていますので、すぐにガス注入しても、先の症状を起こしてしまいます。必ずマニュアルセーフティをかけて、銃からマガジンをはずし、そのまま常温に戻るまで待つてから、ガス注入を行ってください。この時絶対に加温しないでください。2.マガジンの使い方の △ガスボンベ・ガスガン使用上の注意 部分をお守りください。*必ずガスボンベ本体の警告文もお読みください。別売スペアマガジンに交換されると続けて楽しめます。またこのガス消費(ガス切れ)時、銃内に弾が残っていないと絶対に判断しないでください。続けて撃たない時は、ただちに 6.発射を終える時の処理 を行い銃を安全な状態にしてください。

<スライドストップ+ホールドオープン>⇒図10参照

この銃は、マガジンに弾がない状態でスライドが後退すると、後退した位置でホールドオープンするスライドストップが設けられています。発射時は最終弾を撃つとホールドオープンして、弾切れを知らせます。スライドストップを下げれば、スライドは前に戻ります。ホールドオープンのままマガジン交換を行い、解除(この時はスライドを引いても解除可能)すればスピーディーに初弾が送れます。*消費や冷えによるガス圧低下時、スライドがスライドストップのかかる位置まで後退せず、最終弾を発射してもホールドオープンしない場合があります。

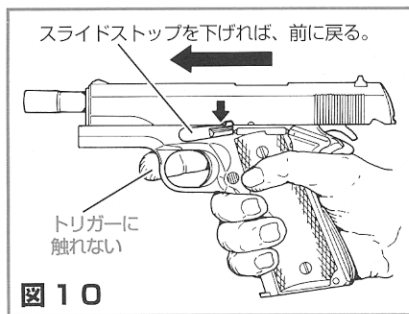


図10

⚠ 注意：発射の際は以下の7点にご注意ください。

1. 可動するスライドに身体の一部や衣類等が当たったり、かんだりしないよう充分ご注意ください。
2. 固定レンジアップ(ホップアップ)システムは銃をまっすぐ正立(⇒図9参照)させて、条件に合うBB弾を発射した時に効果的なホップアップ弾道が得られます。よって銃を斜め、横、逆さにしたり、条件に合わないBB弾を発射されますと、BB弾は全く予期しない方向(極端なホップ・曲がり・ドロップ)に飛んだり、弾づまり(こもった音で銃内に停弾)を起こす恐れがあります。つまり弾は、6.発射を終える時の処理 を参考に銃から取り出してください。⇒5.固定レンジアップ(ホップアップ)について を参照

3. 発射ガスの性質上、ガス注入されたマガジンをつけた銃を逆さま(銃口を下、もしくはマガジン入口を上)にして置き、直後に正立にして作動させる、または逆さまのまま作動させると生ガス(液状ガス)を銃口・スライドの間隙等から噴きます。ガス消費が早まると同時に銃内のオイル分を流してしまい、不調の原因になりますので、お止めください。⇒**4** メンテナンス 参照
4. 発射ガスの性質上、①気温の低い時(おおよそ20℃以下)、②連続発射後、③生ガス発射後、に銃がいわゆる<冷え>の状態になってしまい、パワーダウン・ガス消費(ガス切れ)等を起こし正常に作動しないことがあります。冷えによるパワーダウンの場合、必ずマニュアルセフティをかけて、銃からマガジンをはずし、そのまま常温に戻るまでお待ちください。また一旦ガス消費(ガス切れ)症状を起こし冷えてしまった銃・マガジンには、必ず常温に戻ってからガス注入をして、銃につけてください。加温は絶対にお止めください。2.マガジンの使い方 の△ガスボンベ・ガスガン使用上の注意 部分をお守りください。※必ずガスボンベ本体の警告文もお読みください。

5. △残弾警告②(マガジンに弾が残っているのに発射圧がなくなった場合)：特に20℃以下の低温時、構造上しばらく撃つことにより、冷えによるガス圧不足・ガス消費(ガス切れ)症状を起こしやすくなり、マガジンに弾が残っていても発射できなくなります。この時発射できないから銃内に弾がないと絶対に判断しないでください(2.マガジンの使い方 の△残弾警告①も参照)。マガジンを銃からはずすだけでは弾が銃内に残る(詰まる)場合があり、そのまま放置すると次操作時残弾を忘れて発射してしまう危険性があります。続けてすぐに撃たない場合は、ただちに 6.発射を終える時の処理 を行い銃を安全な状態にしてください。マガジンがついていないというだけで、その銃内にBB弾がないだろうとは絶対に判断しないでください。

6. ターゲットの選択、及びターゲットの周囲には特に注意してください。跳弾及びBB弾の割れる可能性のある固いもの、貫通の可能性のある弱いものはターゲット機材に使用しないでください。
7. 給弾の有無に関係なく、銃口は絶対に人や動物に向けしないでください。また、撃つべきではないものに対しては狙うだけの行為もやめてください。

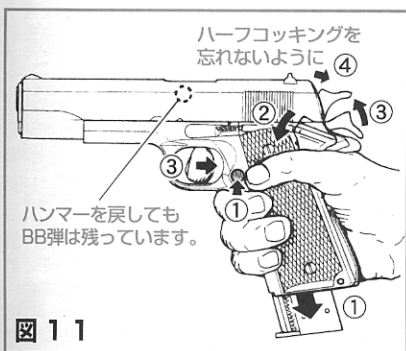


図 11

戻した後の銃内残弾については、2.マガジンの使い方 の△残弾警告①(マガジンをはずす時)を必ずご参照ください。

4. ハンマーの戻し方 ⇒図11参照

- 実銃同様デコッキング機能がありませんので、次の伝統的な方法で安全に戻してください。
- ①まずマガジンをはずしてください。
 - ②マニュアルセフティをはずしてください。
 - ③トリガーを引いて、ハンマーをフルコッキングからダウンにもどしてください。
 - ④続けてすぐにハンマーをハーフコッキングにしてください。もしくは確認してください。

△警告：上記以外の方法はやめてください。特にマガジンをつけたまま、ハンマーを指で押さえて、トリガーを引いて、ゆっくり戻すという方法は、構造上作動(：発射)する危険がありますので、絶対にやめてください。ハンマーを

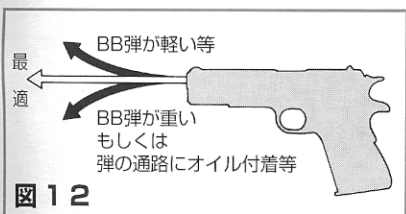


図 12

5. 固定レンジアップ(ホップアップ)について ⇒図12参照

この製品のレンジアップシステムは、当社P99と共通の高精度ラバープラグをポイントに用いた、固定タイプです。最適な飛距離延長効果を得るためには、必ずマルゼン製BB弾各種(0.2g以上)を用いてください。重い弾でホップがかり不足ですと効果がありません。逆に軽い弾でかり過ぎですと極端なホップ・曲がり・ドロップを起こす場合があります。システムは基本的にメンテナンスフリーです。特に構造上、弾の通路(バレル内等)への注油はお止めください。油によりラバープラグの抵抗が無くなり、油分が無くなるまで、ホップがかからなくなります。

▲注意：レンジアップ(ホップアップ)の弾道は、BB弾の表面処理と重量の誤差、風、気温、本体製品差等の諸条件によりすべてが同様に飛ぶとは限りません。ご了承ください。また、新品撃ち初めは各部のオイル(工場組立時に必要です)のため、レンジアップが不安定な場合がありますが、しばらく撃つことにより安定してきます。

▲警告：レンジアップ(ホップアップ)システムは銃をまっすぐ正立(⇒図9参照)させて、条件に合うBB弾を発射した時に効果的なホップアップ弾道が得られます。よって銃を斜め、横、逆さにしたり、条件に合わない重量・直径のBB弾を発射されますと、BB弾は全く予期しない方向(極端なホップ・曲がり・ドリップ)に飛んだり、弾つまり(こもった音で銃内に停弾)を起こす恐れがあります。つまり弾は、6.発射を終える時の処理を参考に銃から取り出してください。

★ここまで正しく操作しても発射しない時は 図12トラブルシューティングをご参照ください。

6. 発射を終える時の処理

競技、練習を終える時は、思わぬ事故を防ぐため、必ず次の ①弾抜き(銃・マガジン) と ②ガス抜き の両方を順番に行い、銃を安全な状態にしてください。

①弾抜き(銃・マガジン)

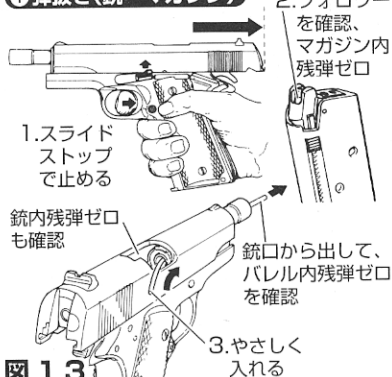


図 13

②ガス抜き

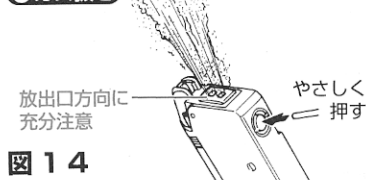


図 14

①弾抜き(銃・マガジン) ⇒図13参照

1. 競技、練習を終える時はマガジンに給弾した弾を安全な方向に全弾撃ちきり、スライドストップで止めてください。
2. マガジンをはずし、マガジン内に弾がないこと、上部にフォロワーが見えていることを確認してください。
3. マガジンをはずすだけでは、銃のチャンバー内にBB弾が残っている可能性があります。ポート(角に注意)から付属リリース棒(赤棒)をチャンバー内へやさしく入れ、銃口から出して、インナーバレル内にBB弾がないことを確認してください。この時インナーバレル基部のホップアップラバープラグ、チャンバーのバッキンを傷めないようご注意ください。さらに銃内部のこぼれ弾等も確認してください。

②ガス抜き ⇒図14参照

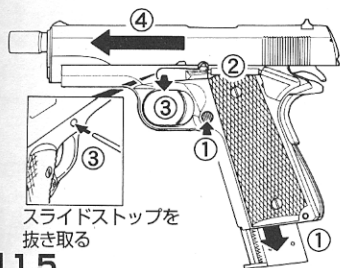
安全な方向にマガジンのガス放出口を向け、放出バルブをリリース棒等でやさしく押してください。マガジン内ガスが多量に残っていた場合、勢いよく吹き出すので、身体等にかからないよう放出方向に充分ご注意ください。後再びマガジンを銃につけ、作動しないことを確認してください。

▲残弾警告③(発射を終える時は必ず確認を)：銃内にまだ弾が残っている状態で、ちょうどガスがなくなったり、冷えたりして発射できなくなることがあります。この時発射できないから銃内に弾がないとは絶対に判断しないでください。マガジンをはずすだけでは弾が銃内に残る(詰まる)危険性があります。このまま放置すると、次操作時残弾を忘れて発射してしまう危険性があります。ただちにセフティをかけ、マガジンのみにしてガスを注入するか、発射圧が戻るのを待って、この場合も ①弾抜き(銃・マガジン) と ②ガス抜き を必ず行ってください。マガジンがついていないというだけで、その銃内にBB弾がないだろうとは絶対に判断しないでください。(4ページ 2.マガジンの使い方 の ▲残弾警告① と 7ページ 3.発射 の ▲残弾警告② も参照)

▲警告：銃は給弾、及びガスを注入したまま、つまりセフティをはずせばすぐ発射できる状態で絶対に放置しないでください。

まず③操作方法的の6.発射を終える時の処理を終えてください。

メンテナンスのための分解・組立 ⇒図15参照



スライドストップを
抜き取る

図 15

- ① マガジンをはずしてください。
- ② スライドを引いて、スライドストップ内側の丸突起をスライド下辺の分解用溝に合わせてください。
- ③ 逆側から付属リリース棒(赤棒)で押して、抜き取ってください。
- ④ そのままスライド全体を前方に抜いてください。

組立

スライド内のメインスプリング関係が 図16 のように所定の位置にあることを確認して、スプリングを押さえながら逆手順で組立てください。

注 油 ⇒図16参照

ガバメントを快調に作動させるために、次の箇所に別売マルゼンシリコンオイルスプレー(¥500)をおよそ1000回作動後及び激しい生ガス発射を起こした後に少量スプレーするか、ティッシュ等に染み込ませて塗布してください。

<スライド>

- ① メインスプリングガイド
- ② バレルリンク基部

<フレーム>

- ③ スライドとかみ合う左右レール
- ④ ディスコネクター
- ⑤ ハンマー基部
- ⑥ ファイアリングピンリリース A
- ⑦ ファイアリングピンリリース B
- ⑧ グリップセフティ内の板バネ類
- ⑨ スライドストップ軸穴

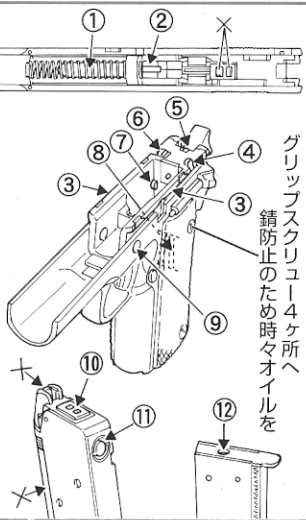
<マガジン>

- ⑩ スクエアパッキン表面のみ、ティッシュ等にオイルをつけて少量うすうす(フォロー一部は厳禁)
- ⑪ 放出バルブ基部 ⑫ 注入バルブ基部

※メンテナンスには別売マルゼンシリコンオイルスプレーをお使いください。

グリップスクリキュール4ヶ所へ
錆防止のため時々オイルを

図 16



△注意：命中精度、ホップアップのかかり方に影響が出ますので、上記以外には注油しないでください。特に弾の通路(マガジン給弾部、銃チャンバー内、インナーバレル内)、スライド内側のブローバックシリンダー内・ピストンには注油厳禁です。これらの部分に注油した場合、かなりの発数を撃ち込み、油分が飛びまで、ホップアップがからなくなります。

△警告：この銃は樹脂パーツ(グラスファイバー入ABS、ジュラコン)を多用して、部分的にゴムパーツを使用しています。さらに塗装している部分もあります。そのため金属専用オイル(ミネン油、CRC等)を使用されると、樹脂・ゴム部分・塗装面が侵され、亀裂等が起こることがあります。別売マルゼンシリコンオイルスプレー以外を使用する場合は、樹脂・ゴム・塗装面に影響がないことを充分確認してください。※必ずシリコンオイルスプレー本体の警告文もお読みください。

外装パーツの手入れ

外装は主に樹脂製(グラスファイバー入ABS、ジュラコン)です。塗装している部分もありますので、汚れた時は、湿らせた布で、汚れがひどい時は食器用台所洗剤を薄めて拭いてください。使用によりエッジ(角)部の塗装はとれていきます。ご了承ください。

△警告：強力な洗剤、研磨剤、コンパウンド、溶剤(シンナー等)は銃パーツを痛めますので使用しないでください。

危険な分解

メンテナンスのため、修理のため、ちょっとした好奇心であっても、**④**メンテナンスにある以上の銃の分解は試みないでください。見える範囲のネジは時々増しじめしてください。

⚠警告：この銃は複雑ですので、不要な分解後再び正しく組立することは非常に困難です。組み間違いで操作してしまうことは大変危険です。必ず修理をご依頼ください。

⇒**⑩**マルゼン製品の修理について を参照

⑤ 保管方法 ⇒図17参照



⚠警告：保管に際しては、以下の2項目をお守りください。

①まず **⑨**操作法の6.発射を終える時の処理の**①弾抜き(銃・マガジン)**と**②ガス抜き**を必ず行い、ハンマースプリングのへたりを防ぐため、マガジンははずした状態でハンマーをハーフコッキング位置にしてから、マガジンをつけてください。長期保管の場合、なるべく銃に**④**メンテナンスも行ってください。ゴム劣化・錆防止になります。

②そして、対象年齢未満の人、操作のわからない人、ルールが守れない人の手が届かない場所を選び、<銃・マガジン>と<弾・ガスポンベ>を別々に分けて保管してください。その際<銃・マガジン>はこの使用説明書と共に新品購入時の箱に入れてください。<銃・マガジン>と<弾・ガスポンベ>の保管・使用場所に関しましては**⑨**操作法の2.マガジンの使い方にある**⚠**ガスポンベ・ガスガン使用上の注意を充分参考に、車中や日光(直射、ガラス越し共)の当たる所等の40℃以上となる場所は絶対に選ばないでください。

⑥ 危険な改造の禁止

⚠警告：この製品は設計当時に最適の操作性、安全性、耐久性を取り入れて製造/検査されています。そしてJASG設定の競技に対して必要十分な性能を保持しています。JASG承認アフターパーツ以外のパーツ使用による改造、加工は作動不良など銃の故障を引き起こします。特に重要な部分(トリガー、セフティ等)の改造、加工は大変危険です。作動に少しでも問題が起きましたら、ただちに使用を止め、修理依頼をしてください。⇒**⑩**マルゼン製品の修理について を参照

⑦ トラブルシュート(故障と思われる時)

⚠警告：銃口は常に安全な方向に向けてください。また、銃口は絶対にのぞかないでください。

★銃を説明書に従い正しく操作しても、正しく作動しない場合は次の原因が考えられます。

※修理依頼については**⑩**マルゼン製品の修理について をご参照ください。

1. 諸元表通りの性能が出ない。

⇒残念ながらすべての生産品が出荷直後から諸元表通りの性能とは限りません。パーツ同士のかみ合い、馴らし期間等様々な要素があります。特に発射数、最大射程、初速、エネルギーは、発射ガスの性質上、外気温と連続発射時の冷えの影響を大きく受けます。また、命中精度につきましてもご了承ください。

2. マニュアルセフティをしっかりとかけても、効かない、勝手にはずれる。

⇒マニュアルセフティをしっかりとかけても、トリガーが簡単に引けたり、ちょっと強めに引くとはずれる場合、セフティの内部パーツ破損が考えられます。ただちに使用を止め、修理依頼をしてください。

3. ガスがもれる。

⇒マガジンにガスを注入した直後からガスがもれる場合、マガジン内シーリングゴムの損傷が考えられますので、修理依頼をしてください。まれにガス注入・連続発射・生ガス発射直後にガスもれ音がする場合がありますが、急激な冷えによる各シーリングゴム硬化(密着が弱まる)のため、すぐに止まります。

4. レンジアップ(ホップアップ)のかがりがおかしい。

⇒③操作法の 5.固定レンジアップ(ホップアップ)について を参考に、銃をまっすぐ正立(⇒図9 参照)させて、必ずマルゼン製BB弾各種(なるべく0.2g以上)を用いて発射してください。

- ホップが強い⇒ 軽量BB弾(0.2g未満)の使用が原因。
- ホップが不安定⇒ 銃をまっすぐ正立させて、当社製BB弾の0.2g以上をご使用ください。
- ホップがかからない⇒ チャンバー等弾の通路にオイルが付着しています。しばらく撃つてオイル分をとばしてください。新品時は組立のオイルが付着している場合があります。メカトラブルの場合は修理依頼をしてください。もしくは重いBB弾の使用が原因です。
- 弾づまり⇒ マルゼン製の直径の大きいBB弾使用による弾づまりです。③操作法の 6.発射を終える時の処理 を参考につまり弾を取り出してください。

5. BB弾が撃てない。

⇒セフティを確実にはずしていない。③操作法の 1.ハンマーポジション・セフティ操作 を参考に確実に操作してください。

⇒次の2点の理由での弾づまりが考えられます。また、撃てなくなったから銃内に弾がないということではありません。ただちにセフティをかけて使用を中止してください。ごく簡単な弾づまりの場合は③操作法の 6.発射を終える時の処理 を参考に付属リリース棒を用いて、つまり弾を取り除いてください。もしくは当社サービスセンターにご相談ください。

① マルゼン製BB弾以外の使用による弾づまり。

使用BB弾は③操作法の 2.マガジンの使い方の△注意 を参考にお選びください。当社製BB弾は当社製BB弾を基準に設計されていますので、バレル内径以上等のサイズが大きい他社製BB弾は確実につまります。

② 発射圧が低下して弾づまり。

③操作法の 3.発射の△残弾警告②の理由で弾づまりを起こしています。

6. 落としてしまった。

⇒落下前と比べて、作動面、特にセフティ関係、に少しでも問題が起きましたら、ただちに使用を止め、修理依頼をしてください。

MARUZEN'S PRODUCT

AIR(SEMI)SPORTS GUN WARNING:
ADULT SUPERVISION REQUIRED. MISUSE OR CARELESS USE MAY CAUSE SERIOUS INJURY.
MAY BE DANGEROUS UP TO 50 METERS. THIS IS A GAS GUN RECOMMENDED FOR USE
BY THOSE 18 YEARS OF AGE OR OLDER IN JAPAN. READ ALL INSTRUCTIONS BEFORE USING.
THE PURCHASER AND USER SHOULD CONFORM TO ALL LAWS GOVERNING USE
AND OWNERSHIP OF AIR SPORTS GUNS.

GOVERNMENT
MARUZEN'S AIR SPORTS GUN

Introducing a
**GROOVY
EDITION**
of
Air sports gun's
Government.

Series'70
Blow back
and others.

MARUZEN

MARUZEN CO.,LTD. 3-11-11 YOKOKAWA SUMIDA-KU TOKYO JAPAN Tel:03(3623)2682